

事務事業名	芳賀地区広域行政事務組合斎場参画事業				担当	市民生活部 環境課 環境保全係			
政策名	G	効率的で市民にわかりやすいまちづくり				増補版施設名			
施策名	3	広域行政・地域連携の充実				☐ 実施計画上の主要事業			
関連個別計画	芳賀地区広域行政事務組合規約					事業期間	☐ 単年度のみ		
法令根拠							☒ 単年度繰返（開始年度 昭和46 年度～）		
予算科目							☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	昭和46年に芳賀地区広域行政事務組合が設立され、芳賀郡内市町及び上三川町で負担金を支出し斎場を運営している。 構成市町の負担率は、均等割20%、人口割40%、件数割40%とされており、これに基づき支出している。 ○火葬炉使用料 管内10,000円/ 1 遺体 管外40,000円/ 1 遺体								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 29年度実績 負担金支払事務 【負担金】10,481千円（芳賀郡市町及び上三川町負担金合計21,095千円） 【負担金の割合】40.9% 30年度計画 平成29年度と同様				⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移 名称 単位 26 年度(実績) 27 年度(実績) 28 年度(実績) 29 年度(実績) 30 年度(見込) ア 負担金 千円 13,267 14,937 8,629 10481 11755 イ ウ エ オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市民 芳賀地区広域行政事務組合斎場				⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移 名称 単位 26 年度(実績) 27 年度(実績) 28 年度(実績) 29 年度(実績) 30 年度(見込) ア 市民 人 80,698 80,590 79,422 79542 79414 イ 斎場施設数 箇所 1 1 1 ウ エ オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 市民が利用するための広域斎場の維持管理と安定した運営を図る。				⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移 名称 単位 26 年度(実績) 27 年度(実績) 28 年度(実績) 29 年度(実績) 30 年度(見込) ア 斎場利用件数（本市火葬件数） 件 771 906 811 852 851 イ ウ エ オ						
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 良好な衛生環境を確保する。				⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移 名称 単位 26 年度(実績) 27 年度(実績) 28 年度(実績) 29 年度(実績) 30 年度(見込) ア 斎場により良好な衛生環境が確保されている割合 % 100 100 100 100 100 イ ウ エ オ						
(2) 総事業費の推移				単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	0	
			一般財源	千円	13,267	14,937	8,629	10,481	11,755	
			事業費計（A）	千円	13,267	14,937	8,629	10,481	11,755	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1		
		延べ業務時間	時間	12	12	12	12	12		
		人件費計（B）	千円	51	50	50	50	50		
トータルコスト(A)+(B)				千円	13,318	14,987	8,679	10,531	11,805	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等										
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか。		昭和46年芳賀地区広域行政事務組合設立により、斎場運営の負担を行う。								
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは 5 年前と比べてどう変わったのか？		必要に応じた改修等が行われてきたが、施設の老朽化が進んでおり、平成27年度に新斎場建設基本構想が芳賀地区広域行政事務組合により策定された。								
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？		斎場を建替えて欲しいとの声がある。								